

平成29年7月九州北部豪雨を振り返り、今後の台風期に備える ～減災協議会の構成組織が集まり防災対応について情報共有～

- 今度の台風期に備えるため、**「山国川圏域水防災意識社会推進協議会」の構成組織が集まり、平成29年7月九州北部豪雨の出水状況や防災対応を振り返り、説明会を実施。**（H29.9.4）
- 出水の状況をはじめ、河川整備や耶馬溪ダム防災操作による効果、集中豪雨に伴う急激な水位の上昇、ホットラインの実施状況、耶馬溪ダムの操作等について情報共有し、**今後の防災対応に関する認識を改めて共有。**

■ 日 時：平成29年9月4日（月）

■ 場 所：山国川河川事務所

■ 参加組織：

中津市、吉富町、上毛町、大分県中津土木事務所、福岡県京築県土整備事務所、大分地方気象台、九州地方整備局山国川河川事務所



● 山国川における河川整備や耶馬溪ダム防災操作による効果

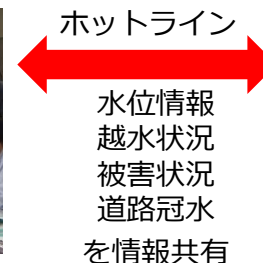
- ・ 「床上浸水対策特別緊急事業」を平成25年5月から実施中。青地区は既に堤防が完成。
- ・ 耶馬溪ダムでは、7月5日に防災操作を開始、ダム下流へ流す水量を最大で約4割低減。
- ・ 今回の洪水では、堤防未整備であれば約2.38m程度溢水していたところ、**堤防整備と耶馬溪ダム防災操作により浸水被害は未発生。**
- ・ **H24.7.3洪水で43戸の浸水があった青地区（青の洞門、競秀峰）で浸水が0戸に解消。**

【平成24年7月出水と今回出水】



● ホットラインによる情報共有

中津市長と山国川河川事務所長によるホットラインを実施。（合計5回）。
水位情報（氾濫危険水位の超過）、越水や道路冠水に関する情報等を共有。



中津市長



<主な意見>

- ・ 急激な水位上昇について、水位同様、雨量のデータにも注意が必要。
- ・ 水位の急激な上昇がダム操作によるものと間違った認識をしている人がいるため、正しいダム操作の情報を共有していきたい。

等